


JSKE2005

アドバンスセミナー⑦「共生と共生支援」  
 人と人との共生～結んで開く～



感性哲学部会  
 岡田 真美子  
 (兵庫県立大学 環境人間学部)  
 ←企画運営 加藤俊一先生

2005/9/10 ©2005 Prof. Dr. OKADA Mamiko 4

JSKE2005

1. 福祉工学 伊福部 達さま@東大



→福祉技術は  
**生甲斐**を高め、  
**安心安全**をもたら  
 するための技術

→人工物と人間の  
**協働**  
 すごい!

2005/9/10 ©2005 Prof. Dr. OKADA Mamiko 2

JSKE2005

2. ロボット 木下 源一郎さま@中大

→ロボットが人の  
**自立を支援**する

→人とロボットの間  
**のインターフェース  
 コミュニケーション**

知能化


密着 遠隔



2005/9/10 ©2005 Prof. Dr. OKADA Mamiko 3

JSKE2005

3. ユビキタス 土井 美和子さま@東芝



→ヒューマンインター  
**フェース**はトレードオ  
**フ**の力学


→みんなが発信する時代  
 cf.「電車男」  
 駅前探検クラブ  
 ★リアルとバーチャルの  
**マッチング**

配信ではなく  
**対話**の時代

2005/9/10 ©2005 Prof. Dr. OKADA Mamiko 4

JSKE2005

4. 建築 宗本 順三さま@京大



→**個体合理性と集団合  
 理性のマッチング**

→**建築家と住民の知の  
 共有**

→**暗黙知の顕在化**  
**オントロジー評価**

2005/9/10 ©2005 Prof. Dr. OKADA Mamiko 5

JSKE2005

5. 岡田真美子 先週はこんな話を↓

シニア向け縦書きパワポ

⇒

本日のお品書き

- 看取りをめぐる  
環境の変化
- 介護のこころ
- 看取りの文化  
〜縁をつむぐ〜

2005/9/10 ©2005 Prof. Dr. OKADA Mamiko 6

JSKE2005

## 人が人と共生するためには

- ひとりでは生きてゆけないことを  
思い知ることが一番
- ハッピーな状況ではありませんが  
---

2005/9/10 ©2005 Prof. Dr. OKADA Mamiko 7

JSKE2005

## 1995年 阪神・淡路大震災

- 6433の人名とそれ以外の多くのいのちを奪った震災

新幹線も 阪神高速も




2005/9/10 ©2005 Prof. Dr. OKADA Mamiko 8

JSKE2005

## 人々は支えあった

- 48万8000棟倒壊
- ボランティア数：  
のべ100万人  
自然発生的に集まる
- 義援金(寄付)：  
約1,700億円



2005/9/10 ©2005 Prof. Dr. OKADA Mamiko 9

JSKE2005

## あれから10年

- 参画と協働の兵庫
- 残ったものは  
人々のネットワーク




2005/9/10 ©2005 Prof. Dr. OKADA Mamiko 10

JSKE2005

## 人と人との間に必要なのは

### コミュニケーション・ツール



— これですね

2005/9/10 ©2005 Prof. Dr. OKADA Mamiko 11

JSKE2005

## 人口圧緩和長寿社会を 迎えて

### つなぐ 結ぶ

? 日本一介護保険の安い村  
病気にならないシニアたち ?

2005/9/10 ©2005 Prof. Dr. OKADA Mamiko 12

JSKE2005

人と人の間に  
地域通貨というツール

街角のセーフティーネット  
～困ったときの千姫頼み～

NPO法人  
千姫プロジェクト  
理事長 岡田 真美子


2005/9/10 ©2005 Prof. Dr. OKADA Mamiko 13

JSKE2005

振込みコメントが人をつなぐ

⇨寄せられた 好意、行為、モノ  
情報、その他に対して地域通貨が  
振り込まれる。

⇨感謝、満足が  
記録され、  
きずなが残る



2005/9/10 ©2005 Prof. Dr. OKADA Mamiko 14

JSKE2005

お茶の間をつなぐ「どこでもドア」



2005 ©2005 Prof. Dr. OKADA Mamiko 15

JSKE2005

インターネットは インドラネット

⇨Information & Communication  
Technologyの革命

global brain  
分散脳の統合

Wow!



Peter Russell  
1983  
↓  
2004  
<http://www.fujtv.co.jp/indexhaotoko/index.html>

2005/9/10 ©2005 Prof. Dr. OKADA Mamiko 16

JSKE2005

人と人を結ぶためにほしいもの

⇨2001年の講演でほしいものとして  
あげたのは

★関係性の視覚化  
自分の位置を知る  
ためのツール

⇨にんげんまんだら作成  
ツール クリッカブルマップつき

⇨ケータイにつないで使えて、  
丸めたり、たたんだりして  
持って歩けるキーボード

2005/9/10 ©2005 Prof. Dr. OKADA Mamiko 17

JSKE2005


切る  
開く

2005/9/10 ©2005 Prof. Dr. OKADA Mamiko 18

JSKE2005

## 共生というのは

- クマノミとイソギンチャク  
のようなほほえましい関係  
(相利共生)だけではない
- 食うか食われるかもまた共生(捕食)
- 空間を共有するものどうしの関係



2005/9/10 ©2005 Prof. Dr. OKADA Mamiko 19

JSKE2005

人と人を**つなぐ**のと同じだけ  
人と人の間を**切る**ことが  
大切です  
すなわち—

2005/9/10 ©2005 Prof. Dr. OKADA Mamiko 20

JSKE2005

## 事件は「キレない」ときに起こる

- 神経がプツンと「キレる」事件
- よく見直してみると—
- 思考回路がエンドレスループに入ってスイッチが切れないことが多い
  - 殺してしまいたい
  - 苦しむ様子が見たい
  - 別れたくない

2005/9/10 ©2005 Prof. Dr. OKADA Mamiko 21

JSKE2005

## アポトーシス・システム

- 不要になったらスイッチが切れる  
プログラミングが組み込まれているシステム
- きちんと死ぬものを製品設計する
  - 死ぬということは大きないのちに帰るということ




2005/9/10 ©2005 Prof. Dr. OKADA Mamiko 22

JSKE2005

## 棲み分け共生のツール

- 蚊帳・蚊遣り・虫送りに学ぶ

気に入らないヤツを  
一網打尽にやっつける  
のではなく  
棲み分けて  
お互いハッピーに



2005/9/10 ©2005 Prof. Dr. OKADA Mamiko 23

JSKE2005

むすんでひらく  
繋いで切る技術  
を世に出す人材育成


2005/9/10 ©2005 Prof. Dr. OKADA Mamiko 24

JSKE2005

## 期待される エンジニア像

- サステイナブル
- シンプルシステム
- スーパーシステム
- セキュリティ
- ソーシャビリティ

- 環境意識がある
- ユーザの身になる
- 柔軟構造の人
- 誠実さと透明さ
- 広い視野  
共感能力



2005/9/10 ©2005 Prof. Dr. OKADA Mamiko 25

JSKE2005

## 暗黙知を聴く人

- よく聴く人を育てる
  - 共生相手を理解しようとする
  - よく聴く人とは、自分も聞いてもらった経験を持つ人
- 話し合いの合意形成から聞き合いの合意形成への訓練

2005/9/10 ©2005 Prof. Dr. OKADA Mamiko 26

JSKE2005

## ご清聴有難うございました

<http://indranet.jp>  
<http://1000hime.jp>

そして 論より証拠:  
2次会で、よく聴くことで すばらしい技術者が育つことが明らかに



2005/9/10 ©2005 Prof. Dr. OKADA Mamiko 27

JSKE2005

加藤俊一先生は深夜まで学生の話聞いて相談に乗る。見よ、ゼミ生たちのすばらしき感性を！



ディヴィッド・マーからレッチリまで！

2005/9/10 ©2005 Prof. Dr. OKADA Mamiko 28